

2023 年度 第 4 回理事会 議事録 2023.11.16

日時：2023 年 11 月 16 日（木）19：00～22：10

開催方式：オンライン開催

場所：自宅または職場

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、吉本雅一（副会長）、玖島弘規（事務局長）、奥原孝幸、望月強併、遠藤陵晃、青木啓一郎、佐々木秀一、野本義則、澤口勇、山勢健太郎、神田崇央、神保洋平、金山桂（15 名）

出席監事：錠内広之（1 名）

欠席理事：佐藤隼、佐藤範明、和田尚（3 名）

欠席監事：野々垣睦美（1 名）

その他出席者：池田公平（選挙管理委員長）、兵頭夏海（事務局部員）、薄井文香（事務局部員）

I. 会長より挨拶

本日、たくさんの審議事項があります。簡潔に伝えて頂き、スムーズな理事会が行えたらと思いますのでよろしくをお願いします。

II. トピックス

(1) 代議員選挙について（池田選挙管理委員長より）

代議員選挙立候補の受付期間は 2023 年 12 月 1 日～12 月 15 日。届け出先は郵送にて神奈川県作業療法士会事務局宛てになる。すでにウェブサイトにて公示済み。12 月 16 日～17 日で開票、集計し、12 月 18 日～22 日で理事へ報告し推薦候補になるか選挙になるかを検討する予定。

III. 報告事項（各部署・理事・三役）

1. 事務局

(1) 会計業務の一部外部委託について

経緯として会計専属の事務局員の退職に伴い会計業務が円滑に進んでいない状況。また税制上の書類などの管理も事務局員だけでは対応しきれないため、今回外部委託の流れとなった。まずは今年度分を全国公益法人協会に一部委託で見積もりを取り、金額は 38 万 5,500 円であった。次年度以降も委託予定であるが、他の事務所の専門家も比較し導入を含め検討していく。

(澤口理事) 外部委託の期間はいつまでなのか、人事計画を伺いたい。

(玖島事務局長) 外部委託についてまずは今年度分。人事採用計画は随時採用をしていき、次年度 4 月からは事務局員 3 名体制を予定している。

(金山理事) 事務局員 3 名体制となったら外部委託はしないのか？今までどおりの体制でやっていくのか。

(玖島事務局長) 税務管理は専門家に委託予定。内部の業務分担や勤務体制は今後検討していく。

2. 財務部

(1) 中間監査報告について

10/8 中間監査を実施した。監事から報告を頂く。

錠内監事から報告

監査の結果、本会の活動並びに収支が概ね健全に遂行されていると認める。

しかし下記の点で改善の検討をお願いしたい。

- ・ 出納帳簿の日付は実際にお金を動かした日で記載すること。またいつの費用を精算したのかわかるように、摘要欄にその旨を記入すること。
- ・ 会議を開催した場合は議事録を作成すること。
- ・ 記入漏れ、押印漏れが見られる。提出前に再確認をすること。
- ・ 会議費、交通費を精算していない部・委員会があるので、下半期に忘れず精算をお願いしたい。

(2) 電帳法に伴う会計処理について

来月相談予定。

(3) 会議費支払い方法について

会議費の振り込み方を検討中。事務局の PC であればネットバンキングにて一括でお金を動かせるためその方法も検討していく。

3. 広報部

(1) 対外広報班活動報告について

麻生区役所の認知症介護教室について

9月27日に開催され、認知症ご家族を中心に介護生活での困りごとについてのグループワークを行った。次年度へ引き継がれる予定。

(2) 神奈川県作業療法学会入会案内について

5名の当日入会があった。

(3) 13歳のハローワークより 職場見学会/中学校での職業講話について

11月7日川崎市立宮崎中学校で開催した。作業療法士の魅力だけでなく、医療系代表として、医療現場で働くことのやりがいや大変さについての講義を行った。今後、養成校も回っていく予定。

4. 制度対策部

(1) 安否確認システムの運用訓練(災害対策事業班)について

9月25日～10月25日で実施した。回答者50名。

アンケート意見：県士会のウェブのトップページにいつでも記載できるようにしてはどうかと提案あり。今後、検討していく。

昨年度は200名程度の回答があったが、今年度は代議員へ直接連絡を入れなかったため人数に差があった印象。

(2) HCRでの活動報告について

9月27日～9月29日で開催した。全体で約11万人の参加があった。OT協会は福祉機器相談コーナーを行なった。相談件数は42件。販売されていない自助具を作成したい、コミュニケーション機器の導入についてのなどの相談があった。

5. 規約委員会

(1) マニュアル収集について

10月末が提出期限であった。まだ提出されていない理事については今月中に神田理事まで提出頂きたい。

9月18日のメールに返信する形でお願いしたい。

(野本理事) 特段マニュアルがないが、何か作った方が良いのか。

(神田理事) 任期途中で理事が急にいなくなってしまった場合などに引き継ぐことが難しいため、やっていることなどをマニュアル化して申し送りできればと考える。

(2) 弁護士への相談について

1月に弁護士に運営について相談・確認をする予定。

弁護士に聞きたい内容がある方は、神田理事まで連絡を頂きたい。任期途中で辞任した理事の対応などを今年度中に確認をとりたいと思っている。

6. 学会評議委員会

(1) 第19回県学会進捗状況について

学会参加 381名、オンライン参加 605名。オンラインと重複している可能性があるため延べ 1000名程度の参加であった。アンケート集計中であり、来月報告予定。

(2) 第20回県学会進捗状況について

学会長に横浜南共済病院中西理佐子氏、実行委員長に北里大学病院佐々木秀一氏、事務局長に横浜旭中央総合病院福留大輔氏、学会誌編集委員の総括に湘南鎌倉総合病院吉本雅一氏に内諾頂いた。第一回実行委員会の開催や会場候補地の選定を進めていく予定。

(3) 第6回臨床大会進捗状況について

演題登録システム **Confit** の導入について(別紙参照)

会場候補地は①海老名市文化会館②厚木市民会館③秦野カルチャーホールがあがっている。

(4) 県学会・臨床大会アンケート結果のまとめについて

別紙の通り。各自内容を確認頂きたい。

7. 公益法人化対策委員会

(1) 専門家への相談：「全国公益法人協会」との面談について

各理事に依頼していたアンケート結果を集約したため、各自確認をお願いしたい。

「全国公益法人協会」の担当者と野本理事、玖島事務局長でオンラインにて面談を行った。

全国公益法人協会とは、公益法人化に移行するにあたってお手伝いをしてくれる立場の方。結論としては、本会の事業で公益化は可能。公益法人化のメリットが享受できるかは法人によって異なる。公益取得にむけた準備期間は2年間ほどを要する。

現在の一般社団法人を継続するにあたってバックアップは可能とのこと。

8. その他部署からの報告

(1) 選挙WGから連絡方法について

昨年度のワーキングで理事メールを使用するというようになっていたようであるが、今後はSlackを活用した連絡方法を検討している。

(2) 福利部 部員公募制度について

部員公募制度を開始していきたい。各部署で部員が必要になった時に、部員を募集することになってくる。今は個別で声掛けを行っているが活動に対して協力的な士会員もいると思われる。そのような会員にぜひ県土会活動に参画してもらいたい。

流れ：公募を開始する部署から条件を提示、連絡してもらう。(基本的に福利部が窓口)

福利部が情報を整理してウェブサイト上で募集をかける。

応募者はフォームで回答を送ってもらう予定。応募があった場合には、該当部署へ連絡をする。

その後は部署として部員になって頂くか検討する。部員申請をして活動をして頂く予定。

(奥原理事) これは一つの方法という理解で良いか。公募や直接声が掛かる場合はその方法を継続する形でもいいのか。

(山勢理事) 今までの方法で部員を依頼するのは構わない。

(吉本副会長) 部員になって頂くか否かは誰が判断するのか。

(山勢理事) 応募した部署の理事が必要によって面談してもらい判断してもらえば良い。

(吉本副会長) 部員になって頂かない場合の伝え方などあるか。

(山勢理事) ご希望に添えない場合があるなど先に一文載せることも良いか。

(望月理事) 公募の条件は必要な時だけ提示をすれば良いか。

(山勢理事) ずっと条件を提示することも良いと思う。必要になった時に募集を掛けることも良いのではないかと考えている。再度検討する。

(3) 会員からのご意見について

「MTDLP 事例報告の研修会に申し込んだが連絡が来ない」という問い合わせがあった。今後、同じことがないように対応していくことを本人、上司に伝えお詫びをした。

(田中副会長) 引き継ぎの不手際もあり相手に不愉快な思いをさせてしまった。今後、円滑に事業が再開できるように引継ぎを行なっていく。引き継ぎのマニュアルなども利用していきたい。

【理事・三役】

1. 金山理事

(1) 渉外報告(神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会からの出席)

神奈川県介護人材確保対策推進会議について

- ・在宅ワーキング (ホームヘルパー人材確保のためのワーキング)

内容: 求人を出しても在宅介護を希望する人は少なく、ホームヘルパーだけでなく経営者の高齢化が進んでいる。働き始めて2~3年をターゲットに情報発信をして従事者を増やすだけでなく定着も目指したい。

- ・育成部会 (幅広く参入可能な介護業界でどのように質を担保する研修機会を提供できるか検討する部会)

内容: 介護福祉で働くための導入の研修は多いが定着 (離職を防ぐ) 政策や研修が少ない。

小学校で職業を知り、中学校で職場体験を通して理解を深める教育システムをうまく活用したい。

今後は小学校にも介入していきたい。

2. 澤口理事

1. 10月21日自身体又は企業における成人の健康づくりに寄与するPT・OT基礎研修会 主催: JAOT 並びに JPTA による共催 <web> 事業内容報告について

- ・自治体、企業における障害の予防、保健活動でのPT OTの取り組みを推進

今後PT・OTが健康増進に向けて取り組めないか検討中。(0次予防への参加)

初めは10都道府県ではじめ、最終的には47都道府県で取り組めるように進めていきたい。

- ・労災対策、転倒予防として理学療法士と連携して予防に努めていければ良いのではないかと。

- ・保健師活動を支えるプロモーション

本人が健康を変えていけるようにアプローチ (環境面の調整など)。

- ・労災でここ数年はメンタル面で退職なども多い。

OTは心と体の両面でのアプローチができるため、取り組みを行えるのではないかと。

2. 10月10日リハ手帳（仮称）POS 合同会議 進捗について

- ・同年5月モニタリング案内時のアンケート結果及び問い合わせに対する回答について 24 施設よりアンケートの回答があった。
- ・今後の、情報発信及びアンケート・モニタリング募集について、各士会ホームページにアンケート募集を実施予定。当会のウェブサイト管理委員会と連携していく。
アンケートの結果を踏まえて来年の3月頃を目処に試作品を作っていければと思う。

IV. 審議事項

1. 後援依頼（事務局）

RUN 伴+三浦半島 →理事メールにて配信し、承認済み

2. 部員承認（地域リハ・エリア化）（事務局）

2名の申請あり。

→賛成多数で承認。

3. 顧問について（事務局）

渡邊 慎一氏（横浜市総合リハビリテーションセンター）

→賛成多数で承認。

4. 共催、協賛、後援規程について（規約委員会）

（吉本副会長）メールや Slack での臨時理事会では記録が残っていれば、大丈夫か。

和田理事の承諾も必要になってくるため確認していく。

（神田理事）電磁的な記録が残っていれば可能。

（神保会長）メールなどでの臨時理事会では電磁的なものが残っていれば良いということだが、メールが3ヶ月で消えてしまうなどの対応はどうしたら良いか。

（吉本副会長）承認されるまでの過程も全て残さなければいけないか。

（神田理事）記録は過程も含めて残しておく必要があると思う。

（神保（洋）理事）記録を残さなければいけない案件はメールリングリストを使用していくのが良いか。

（望月理事）講演を依頼する人の規約は作る必要はあるのかどうか。

（吉本副会長）神奈川県ではしっかりと規約が決まっていて、回答がもらえるようになっている。

（錠内監事）三役の方で戦略的な問題で決めるため、相手方に対しては規約を決める必要はないのではないかと
思う。相手が受けてくれるか受けてくれないかの問題。

→賛成多数で承認。

5. 賛助会員 B について（事務局）

グランメイト株式会社神奈川営業所様より依頼あり。

→賛成多数で承認。

V. 理事としての提案・審議事項

1. 田中理事

(1) 2024 年度事業計画・予算案について

謝金および会議費については検討中。

総会にて変更提案することを踏まえ、予算案を作成する際に以下を参考とする。

- ・謝金：詳細の規定に関しては改めて報告していく。
- ・会議費：別途会長案による。

・提出期日、方法に関しては改めてメールで共有していく。

(澤口理事) 9月に事業計画案を一度出しているがもう一度出す必要があるか。

(田中副会長) 9月に行なったのは今年度の中間報告。今度記載頂くのは2024年度の計画。

2. 神保(洋)理事

(1) Slackの使用について

利点：受信者が他のメールと混在することがない(見逃しリスクの低減)

Slack内での情報は系統別に配信することが可能(受信者が優先順位をつけて閲覧可能)

Slack内で個別チャット機能があるため、迅速な情報交換が可能

入室できるメンバーを限定したチャンネル設定も可能(三役会などに利用可能)

備考：無料プランは履歴が90日分の閲覧が可能(90日以降は自動消去)

有料プランは最も安価なプラン：プロ(履歴アクセス無制限)で925円×20名=18,500円/月

・『@ (メンション)』機能を使って、確実に伝えたいメンバーに情報を伝えられる。

・添付ファイルの送信も可能

・重要な投稿に対して、ピン留めができる。

(山勢理事) 他社のツールを比較したかどうか。

(神保(洋)理事) 様々なものを使用したがSlackは用途に合わせて行えるため県土会にはマッチしていると思う。

Xドライブとの併用も良いのではないかと思う。Googleワークスペースも検討する。

(田中副会長) Googleワークスペースは無料版があるのか。他の県土会でマイクロソフトチームスを使っているところもある。他のものとも比較しても良いと思う。

(山勢理事) 無料版はなく費用がかかる。

(青木理事) Xドライブはどの位の容量があるのか。

(玖島事務局長) Xドライブは容量がいっぱいになってきており、開かなくなっている。

有料版にすることで容量を増やすことができる。

(吉本副会長) どこまでを保存するのは決める必要がある。

(玖島事務局長) 基本は理事メールを使用。まずはSlackの使用感を試していく。Slackを使用する場合には内容を限定して行なっていく。

3. 吉本理事

(1) 日本作業療法士協会 代議員について

神奈川県は10名の選出が必要。現在、立候補者4名、残り6名を推薦してほしいとの依頼があった。

神保会長、田中副会長を推薦候補としている。加えて澤口理事、遠藤理事、佐々木理事、神保(洋)理事を推薦する。

4. 神保会長

(1) 次年度の新組織改編より、副会長3名体制の実現。(規約変更)

組織の見える化を図る。次年度はプレ運用をしていく。

(2) 永年会員制度の導入(規約追加)：定年退職後の会員特典

(3) 学生会員制度の導入(規約追加)：学生会員番号付与/学生特典/学生とのコラボ企画/学生成果ニュース事務局、財務、規約、福利、広報で集まり、11月でワーキングを開催予定。1月でワーキングの結果を取りまとめ報告予定。

(4) 会員データ管理システム構築（県内 OT 分布状況把握と人材バンク設立準備）

ワーキングの設置を検討して対応していきたい。

(5) 次年度より、会議費 800 円から 1000 円（or 最低賃金:1,112 円）に引き上げ。

(佐々木理事) 学生会員制度について。学術誌に掲載できるのか、学会に参加できるかなど学生会員が受けられる範囲を決めていく必要があるのではないか。

(神保会長) ワーキングの方で詳細を詰めて行けたらと思う。

VI. 組織改編について

下部構成の一覧をまとめている。災害対策（事務局に中央の機能を作る）、学術部（倫理班を新たに設置する）予定。今後は Slack、メールでも意見交換ができればと思う。12 月の対面理事会で話を詰めてプレ運用を行なっていきたい。2025 年には新組織体制で動けるようにしていく。

VII. その他連絡事項

(1) X ドライブについて

容量が超えてしまい使用できない状態。データを引き出せなくて困っているなどあれば、玖島事務局長に連絡して頂きたい。

(2) 田中理事

代議員選挙に関して、ウェブサイトを見ておらず、立候補が遅れてしまったということがあった。

インフォメーションとして、県士会としてメールリストからお知らせだけでもできればと思う。周りにも声掛けをしてもらい、立候補を募って頂きたい。

VIII. 監事より

審議の重要性を考えた順番で会を進めて行けたらよりスムーズに会が進めていけるのではないかと思います。次回、12 月 22 日（金）対面になりますのでよろしくお願いいたします。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	野本 義則	印
	理事：	望月 強併	印
	監事：	錠内 広之	印